

## IV 令和6年度 富山市民大学に関するアンケート結果報告書

### 1 調査の趣旨

令和6年度の市民大学受講者の実態及び意識を把握し、今後の市民大学運営に資する。

### 2 実施スケジュール

- ・実施期間 9月～11月（7月までのコースでは、7月に実施）
- ・調査結果入力 10月～12月
- ・調査結果集計・考察 1月～2月

### 3 調査方法

- ・コースが7～8割ほど終了した時点でアンケート実施。
- ・講義前にアンケート用紙を配布して協力を依頼し、休憩時や退室時に回収。
- ・アンケート用紙は両面とし、表面に受講コースに関する設問を、裏面に市民大学全般に関する設問を記載。複数コースの受講者は、表面は受講しているコース毎に、裏面は1回のみ記入。
- ・新規に開設を希望する講座についての設問を追加した。
- ・昨年度のアンケートで追加したデジタル環境活用に関する設問について一部変更した。

### 4 回答者

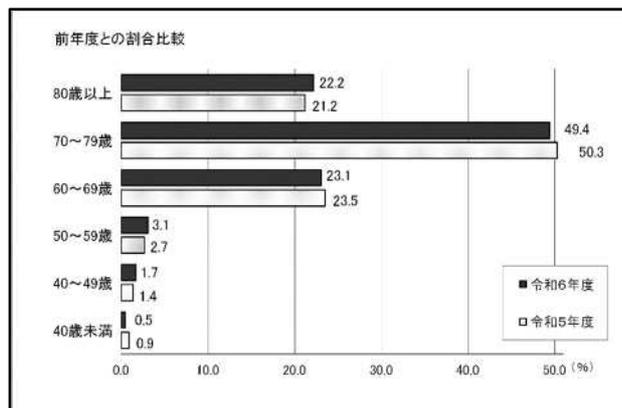
【表面】 1,164名/1,733名（延人数） 回答率 67.2% （昨年 65.8%）

【裏面】 970名/1,229名（実人数） 回答率 78.9% （昨年 78.5%）

### 5 令和6年度 富山市民大学受講者の属性

#### (1) 年代

- ・受講者のうち、60歳以上が94.7%（昨年95.0%）を占め、平均年齢は昨年と同じく72.9歳である。
- ・特に80歳以上の割合が、22.2%と昨年より1ポイント上昇した。
- ・平均年齢は、10年前（2014年）69.5歳、5年前（2019年）71.3歳であり、徐々に高くなっている。



#### <考察>

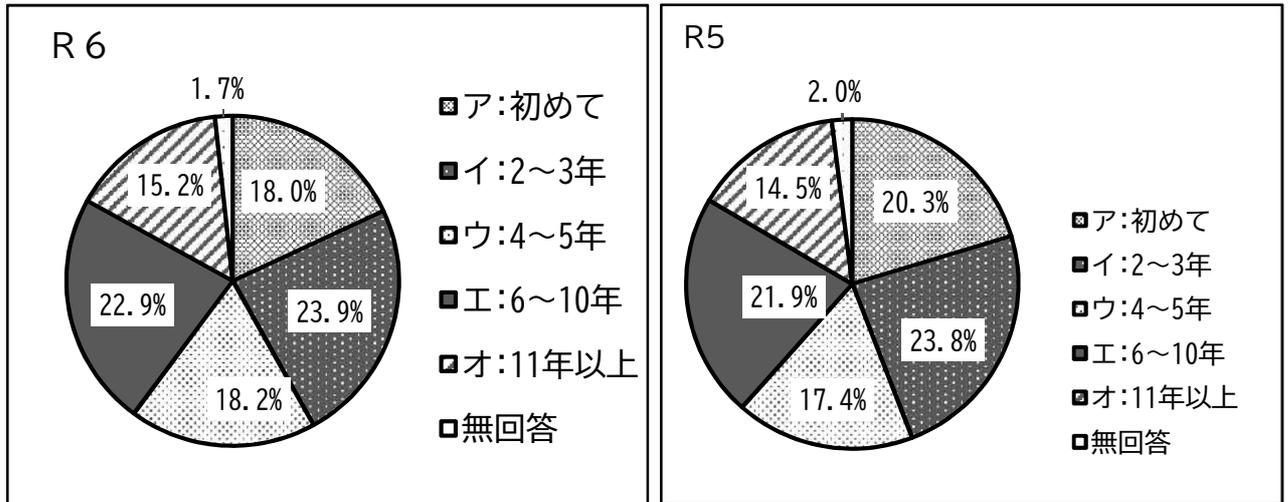
「高齢者雇用安定法」（2021年4月施行）により、65歳から70歳までの労働者の就業機会確保、70歳までの定年引上げ等の措置を講ずる努力義務が新設された。これにより、今後ますます市民大学の受講者の年齢層は上がり、高齢化すると予想される。

#### (2) 居住地

- ・受講者の88.2%が「旧富山市内」の居住で、次に多いのが「婦中地域」5.6%である。市外（勤務地が富山市内）の受講者が、6名で0.5%となっている。この割合は、例年とほぼ変わらない。

(1) 受講経験等について【設問1～3】

「1. 市民大学の通算受講年数」について

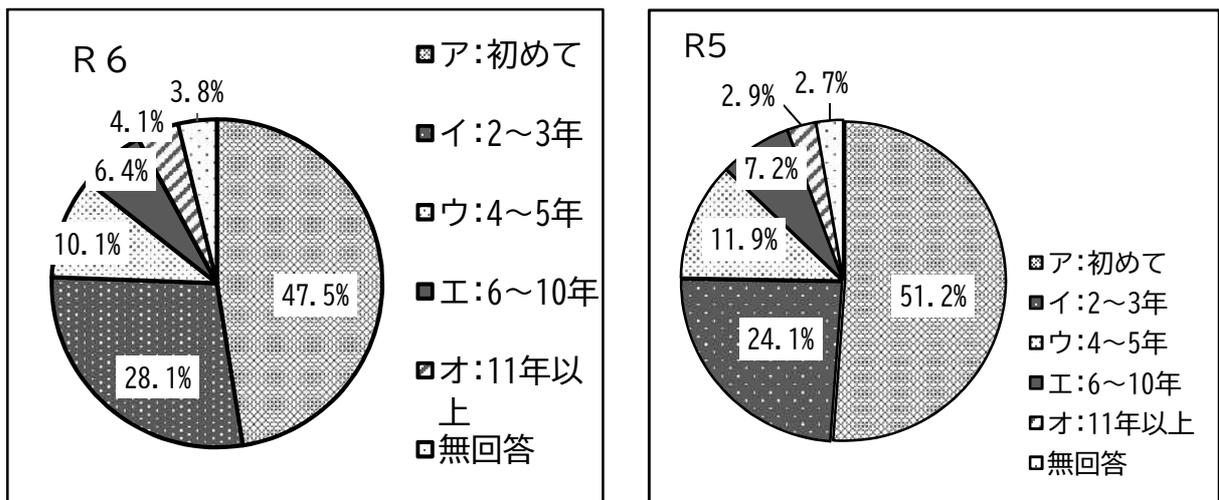


- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて41.9%(44.1%)を占めている。
- ・一方、6年以上の受講者が38.1%(36.4%)を占めており、中でも「11年以上の受講者」は15.2%(14.5%)を占める。このうち11年～15年が18名、16年～20年が10名、20年以上が7名となっている。最長で41年という受講者がいる。

<考察>

- ・3年以内の受講者が約40%いることから、一定程度の新規受講者が獲得できている。
- ・6年以上の受講者も約40%いることから、市民大学への満足度が高い。
- ・中でも11年以上の受講者が約15%もあり、市民大学が生活の一部となっている。

「2. コースの通算受講年数」について

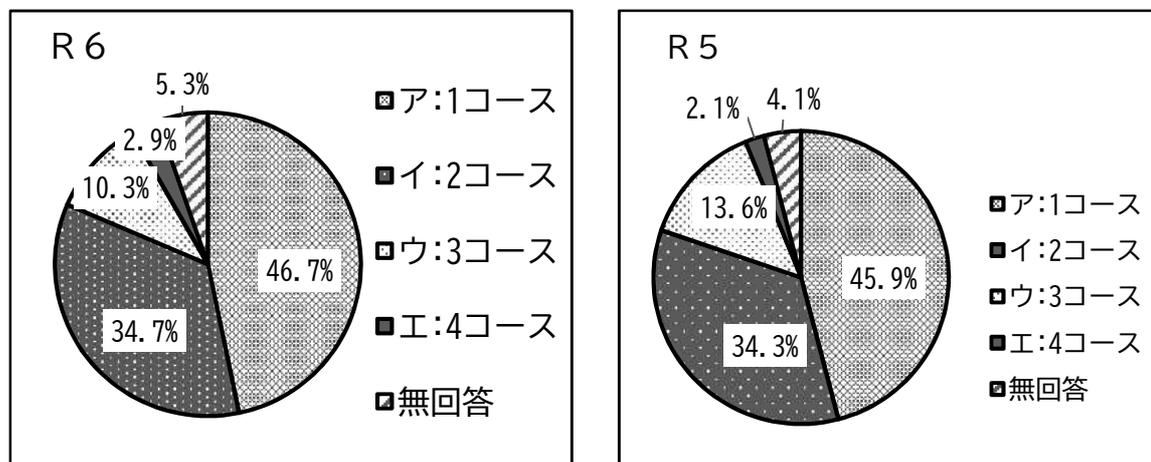


- ・このコースを初めて受講した人は、47.5%(51.2%)で、約1/2を占めている。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて75.6%(75.3%)を占めている。
- ・同じコースを6年以上受講している割合は10.5%(10.1%)であった。

<考察>

市民大学自体の通算受講年数3年以内の受講者41.9%に対し、コースの通算受講年数3年以内は75.6%であることから、少なくとも1/3以上の受講者がコースを変えて市民大学を継続受講している。実際に市民大学を受講したことで、コース内容に満足されるとともに、さらに新しいことへの好奇心や学習意欲が高まっていると推測される。

「3.受講コース数」について



- ・2コースを受講している受講者が34.7%と、昨年(34.3%)と同等である。
- 一方、3コース以上を受講している受講者が13.2%と、昨年(15.7%)より2.5%減となったが、一昨年度の5.2%を大きく上回っている。最高は5コースである。

<考察>

ここ2年間は過半数の受講者が複数コースを受講していることから、コロナ禍を経て、複数コースの受講を差し控えていた受講者が積極的に受講されたものと推察する。

(2) 受講コースの評価(時間・回数)について【設問4~6】

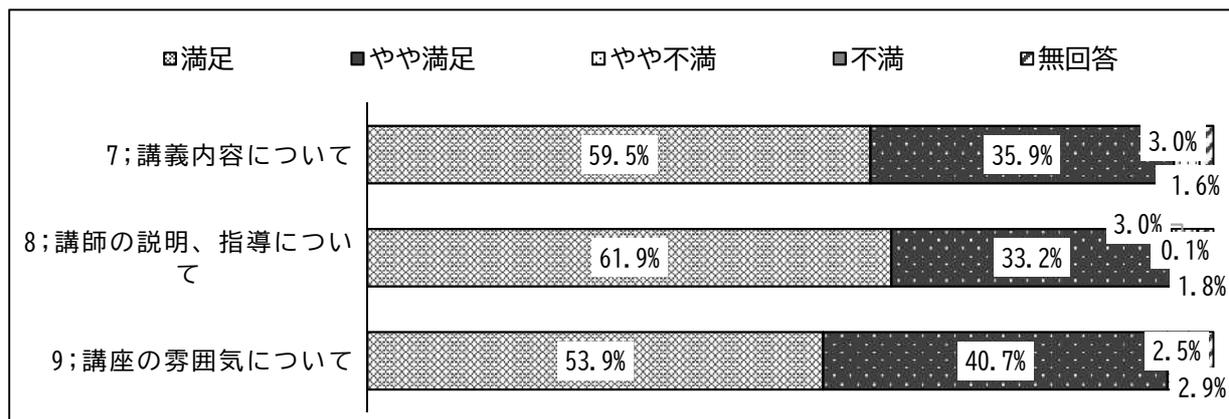
	ア:長い	イ:短い	ウ:ちょうどよい	無回答
4. 現在の講義時間	3.4%	2.8%	93.1%	0.7%
	ア:多い	イ:少ない	ウ:ちょうどよい	無回答
5. 講義の回数	0.7%	11.6%	85.9%	1.8%
	ア:早い	イ:遅い	ウ:ちょうどよい	無回答
6. 講義の開始時刻	7.0%	2.1%	88.1%	2.7%

- ・いずれの項目も、多くの受講者が「ちょうどよい」と回答している。
- ただし「講義の回数」については「少ない」との意見が11.6%、「開始時刻」については「早い」との意見が7.0%ある。

<考察>

- ・「講義の回数が少ない」との意見が11.6%あり、昨年(9.0%)から増加した。参加する意欲が再び高まってきているものと推察する。なお、講義時間・回数ともに概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。
- ・開始時刻についても概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。一方で、「早い」と感じている受講者が、昨年から引き続き一定数いることに留意し、今後もアンケート項目に入れて意見を探りたい。

### (3) 受講コースの評価（内容等）について【設問7～9】



#### ●自由記述（一部抜粋）

区分	内容
7. 講義内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の丁寧な講義は、このコースに取り組む者にとって、とても参考になった。</li> <li>・内容が非常に精選されている。資料もコンパクトで良い。何よりも講師の話し方に好感がもてる。</li> <li>・内容が濃厚なものが多いので、そのようなものは数回に分けてほしい。</li> <li>・現地学習があれば参加したい。</li> <li>・講師によって満足度にばらつきがある。</li> <li>・質問時間をしっかり確保してほしい。</li> <li>・受講者の経験年数にばらつきがあるので、事前に質問を受けるなどしてニーズを満たしてほしい。</li> <li>・これからも学びたい。知りたいこともたくさんある。</li> </ul>
8. 講師の説明・指導について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回資料が充実し、講義時間もしっかり守られていてよかった。</li> <li>・毎回アイスブレイクで旬な話題を提供頂き、講師の見識の豊かさに感銘している。</li> <li>・説明の時間を短くして、実習の時間を増やしてほしい。</li> <li>・意見を発表したりワークショップをしたり、会話の機会がもう少しあるとよかった。</li> <li>・言い回しが難解で分からないところがあった。</li> <li>・資料は、地図・年表等白黒では解かりづらいのでカラーにしてほしい。（資料代が高くなってもよい。）</li> </ul>
9. 講座の雰囲気について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和やかで親しみやすく、入りやすい講座だった。</li> <li>・講義中、スマートフォンをさわっている人がいる。私語がある。</li> </ul>

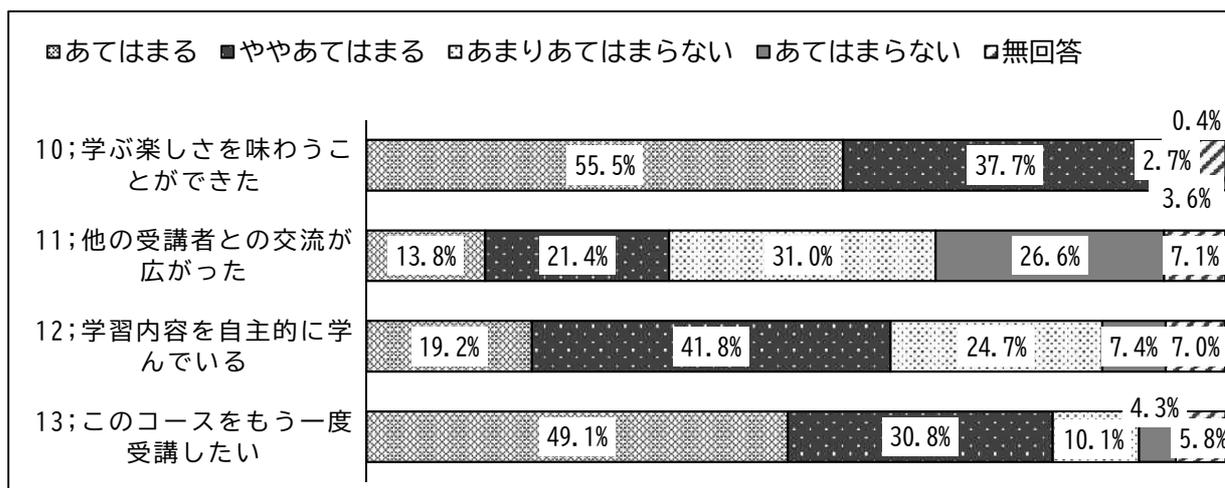
・「満足」「やや満足」と回答した割合が、「7. 講義内容について」は95.4%、「8. 講師の説明、指導について」は95.1%、「9. 講座の雰囲気について」は94.6%といずれも肯定的である。

・自由記述では、数名の人が、受講者のマナー違反（私語等）を指摘している。

#### <考察>

- ・コース・講座によって差はあるが、概ね受講者のニーズにあった講義が展開されており、それが継続して市民大学を受講する人の数に表れている。
- ・自由記述から、「分かりやすい説明や資料」「質問時間の設定」への一定数の要望がある。さらに魅力ある講義となるように、講師の方々に受講者の要望を伝えていく。
- ・携帯電話や私語については、受講者の学習意欲を妨げないように、引き続き注意喚起していく。

#### (4) 受講した成果について【設問 10～13】



#### ●自由記述（一部抜粋）

区分	内容
10. 学ぶ楽しさについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らないことを知る感動があった。</li> <li>・高齢者の自分としては、若い時に聞き学んだ歌を学習できるのが楽しい。</li> <li>・講師からいろいろな情報をいただき、富山ってすごいなあと思った。</li> <li>・各国の自然や生活など、比べて講義されて面白かった。</li> <li>・講師やスタッフの方、他の受講者とも仲良くさせて頂き楽しかった。</li> </ul>
11. 他の受講者との交流について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の方の俳句や鑑賞に触れ、俳句作りに生かすことができました。</li> <li>・友人と内容について語り合っている人もいて、うらやましいと感じた。</li> <li>・他の受講者と話し合う機会が少ないと思う。</li> <li>・学習だけで交流は望んでいない。</li> </ul>
12. 自主的な学習について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ学びが足りないと感じた。多くの本を読みたい。</li> <li>・富山にも身近にこんな場所があることが分かり興味をもった。</li> <li>・学んだ事を実行しようと思うが、つい後回しになってしまう。</li> </ul>
13. 同コースの再受講について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年で3年目です。もっと上手になりたい。</li> <li>・2年間受講したが、同じ内容じゃないものにしてほしいと思った。</li> <li>・中級コースができれば受講したい。</li> </ul>

- ・「10. 学ぶ楽しさを味わうことができた」は、93.2% (91.5%) で、良好な結果であった。
- ・「11. 他の受講者との交流が広がった」の否定的な回答は57.6% (62.8%) であり、昨年より5.2ポイントの改善が見られた。しかしながら、座学中心のコースにおいて否定的な回答が多く、自由記述にも、受講者間の接点の無さを指摘する声もある。
- ・「12. 学習内容を自主的に学んでいる」は、61.0% (59.4%) が肯定的な回答であり、昨年度より1.6%増となった。
- ・「13. このコースをもう一度受講したい」は、肯定的な回答が79.9% (80.3%) を占めており、ほぼ例年並みであった。

<考察>

- 自由記述での「知らないことを知る感動があった」等、93.2%の受講者が学ぶ楽しさを感じており、生涯学習を推進する場として、その役割を一定程度果たしているものと考えられる。
- 他の受講者との交流については、否定的な回答が昨年より減少した。今年度は、あらかじめ講師に「コース受講者のアンケート」結果をお知らせした。その結果、講師による指導法にも変化が出てきたようである。しかしながら、相変わらず受講者同士の関わりが少ないことから、受講者同士の関わり方や、講師と受講者との双方向の関わり方について継続して検討する必要がある。ただ、一方では「交流は望んでいない」という意見もある。生涯学習の第一義はどこにあるのかについて再確認したい。
- 自主的な学習については、肯定的な回答が昨年より増加した。例年、創作系において自主性が高い傾向にある。自由記述においては、「まだまだ学びが足りない、さらに多くの本を読みたい。」「富山にも身近にこんな場所があることが分かり興味をもった。」といった座学受講者の声からもうかがえる。また、コースの再受講については、肯定的な回答が約80%を占めた。特に創作系での再受講希望の高さは、学んだ成果を実感しやすいことや、短期間での習熟は難しいこと等が要因と考えられる。一方、再受講希望が少ないコースにおいては、自由記述から「マンネリ化」「テーマと内容の不一致」等の要因も考えられる。同じコースを再受講することが必ずしもよいわけではないが、今後のコース・講義内容を検討する際の材料としていく。

(5) コース全般について【設問 14：自由記述】（一部抜粋）

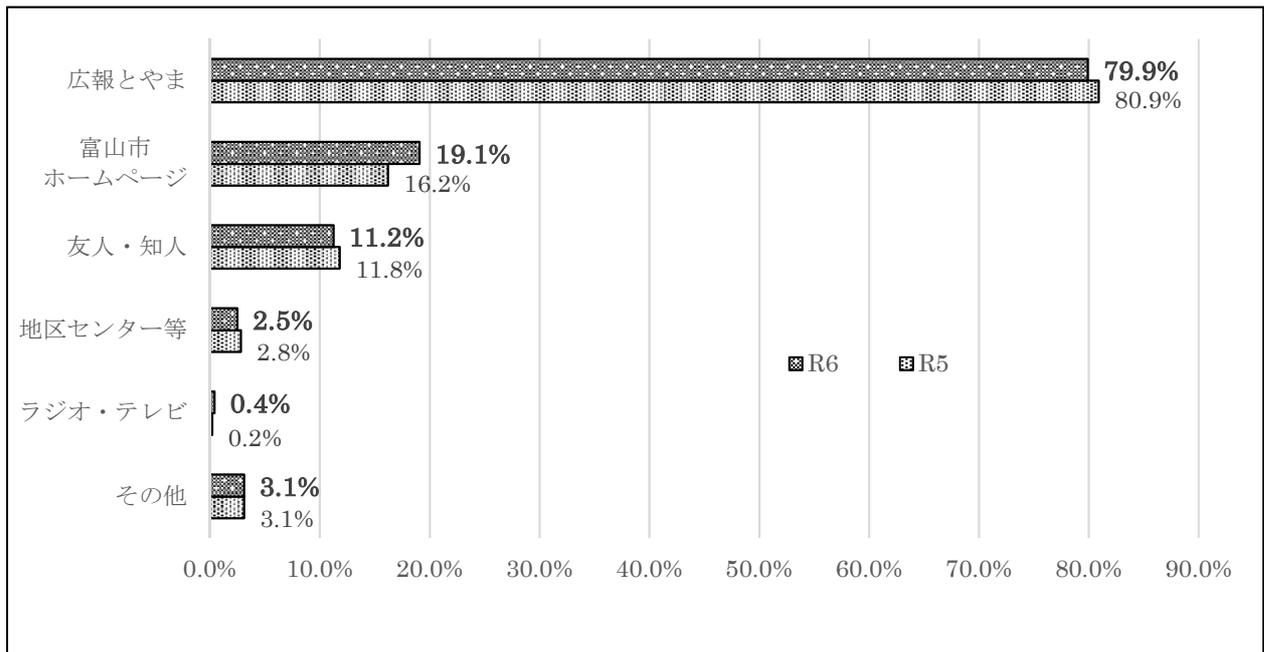
区 分		内 容
感想	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義内容はたいへん興味があることばかりである。次年度も受講したいと考えている。</li> <li>今まで知らなかったことを知ることができてよかった。</li> <li>想像以上に専門性が高く講師の熱意を感じる時間である。今回参加できて本当に満足している。</li> <li>講師は話が上手なので毎回楽しい。</li> <li>講義に参加すると人と触れ合いができる上、こんな視点もあるのかと思わせてくれ、とてもよい印象をもっている。</li> <li>学生時代に戻ったようで、楽しく受講できた。</li> <li>現地学習で説明を聞くことができたのでよかった。</li> </ul>
	郷土	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山に生まれ育ったのに、富山のまちについて知らないことがたくさんあった。どれもとても学びに繋がった。もっと多くの方に聞いて欲しい。</li> <li>富山県民として自分の立ち位置について学ぶことができ大変勉強になった。</li> <li>受講した後に、学習に登場した場所へ行ってみたいと感じた。</li> <li>富山で落語の楽しさ、面白さを学べる数少ない機会であり、よい講座である。</li> <li>自分の暮らすまちについて知ること、人生が豊かになったと思う。</li> <li>郷土の歴史を多方面から学ぶことが楽しい。ナゾが解けると更に学びたい気持ちになるのが楽しい。</li> </ul>
	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>このコースを受講して10年以上になりますが、生きていくこと、健康に過ごすことにとっても参考になっている。</li> <li>大学の教授等、その道の専門の方の話が聞けてよかった。普通なら接点のない方々なので、とても勉強になった。</li> <li>歩く時の姿勢など気をつけるようになった。</li> <li>日常生活の中で心がけようと思うヒントがたくさんある。何度同じ話を聞いても「そうだった、なるほど」と感じる事が多く、心を豊かにしてくれる。</li> </ul>
	生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典を学んでいるようだが、現在の私たち、世界の国際社会に通じることばかりであると気づかされた。</li> <li>現在放映中の大河ドラマと相まってとても興味深く聞いた。古文に対する思いが深まった。講師の説明も分かりやすく楽しい。</li> <li>江戸時代を背景とする本やテレビが目が行くようになり、余暇の時間の過ごし方に生かされている。</li> <li>なかなか行けない国の様子を知ることができ、もっと深く知りたいと思った。</li> <li>生活の中で役立つことをたくさん教えてもらい、ありがたい。</li> <li>習うということは、新しい学びを得ることができ、料理の幅を広げることにつながった。</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料のコピーがカラーなら更によい。</li> <li>8月に2回講義があったが、近年は猛暑で危険。11月にすることができないか。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師に対して政治的な質問があった。個人的にいろいろな信条を持つことを批判しないが、講義中に講師を相手にそれを討論するのはふさわしくない。講師の困っている様子を見て悲しくなった。</li> <li>・市民プラザ地下駐車場の区画を広げればもっとよい。</li> </ul>
要 望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク、考古学は、現地での講義もあればよいと思う。</li> <li>・講義の開始時間を10～15分遅らせてほしい。おでかけ定期券を利用しやすくするため。</li> <li>・本当によくしてもらっているのは分かるが、全体のレベルを見て指導してほしい。できてないのはこちら側なので、こっちのストレスも考えてほしい。</li> </ul>

(6) 市民大学全般について【設問 15～22】 回答数(裏面)970名

「15. 開設コース・学習内容等の情報取得手段」について

裏面回答者 970 人に対する割合

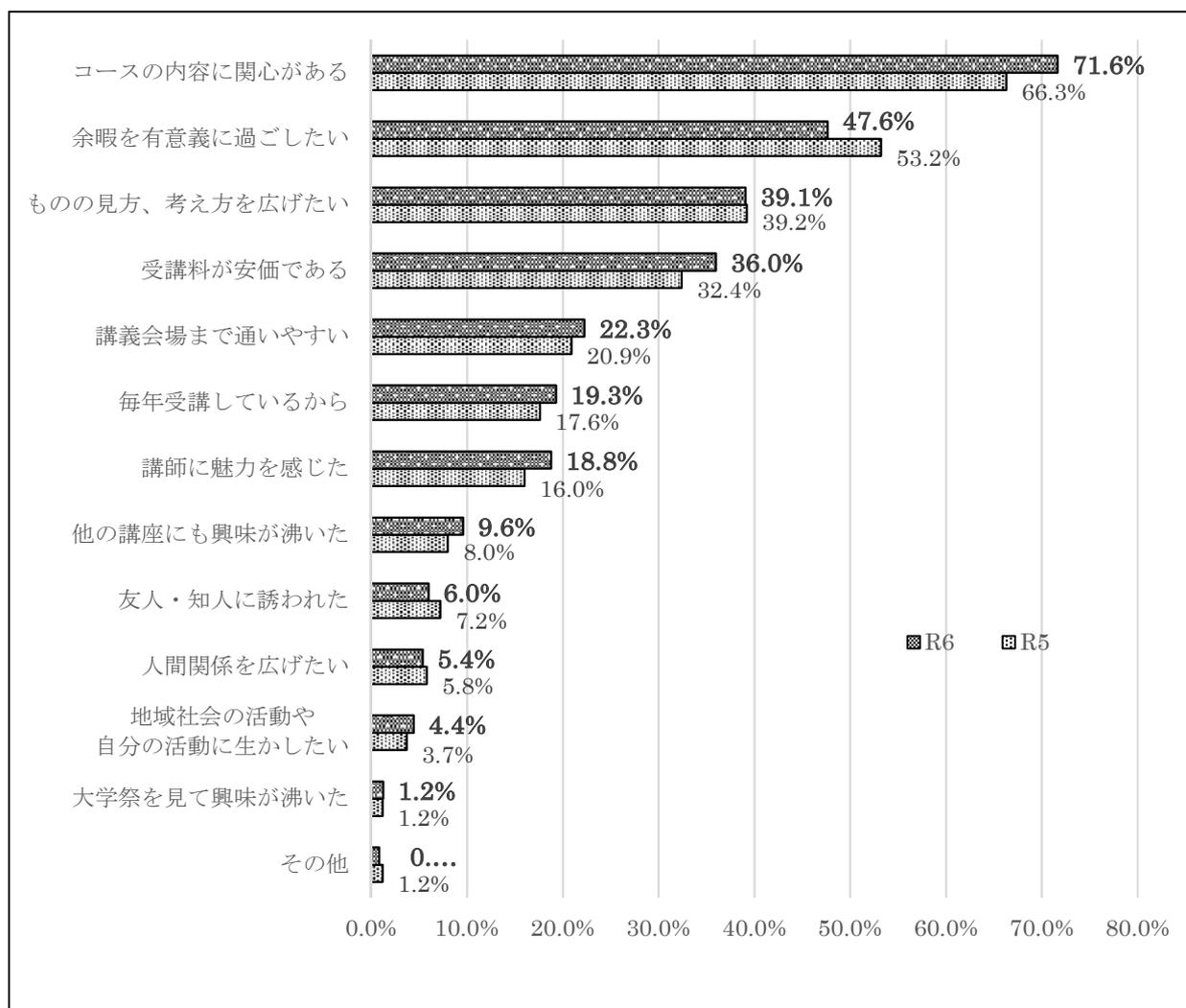


<考察等>

- ・市民大学の情報取得手段としては、例年同様「広報とやま」が約80%を占め、最も多い。
- ・富山市ホームページを情報取得手段とする割合が、昨年より約3ポイント増加した。
- ・引き続き、「広報とやま」での周知を継続するとともに、ホームページの充実や今年度秋から開始したLINEの有効活用に努めたい。

## 「16. 受講の動機」について

裏面回答者 970 人に対する割合

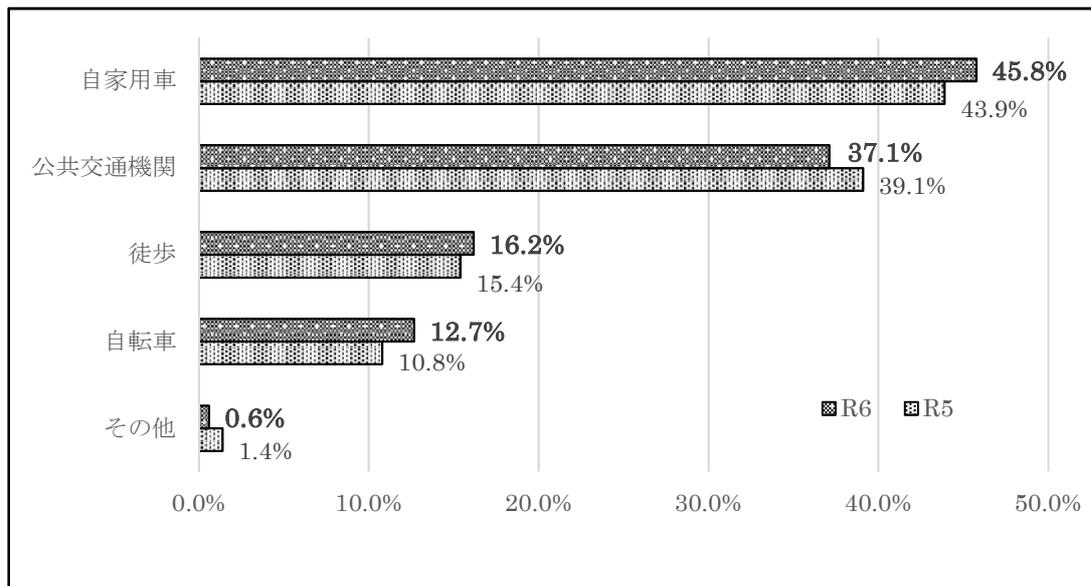


### <考察等>

- ・「コースの内容に関心がある」が最も多い。次いで、「余暇を有意義に過ごしたい」「ものの見方、考え方を広げたい」となっており、例年同様の傾向である。
- ・次に「受講料が安価である」「講義会場まで通いやすい」が多いことも例年同様であり、物理的な面も動機の一つとなっているようである。
- ・「人間関係を広げたい」は5.4%にとどまり、交流を求める目的で市民大学を受講している人は少ないことが分かる。
- ・余暇を有意義に過ごすために市民大学を受講し、新たな知識の獲得や趣味等を開拓したいという思いが読み取れる。

## 「17. 講義会場へ来場する際の主な交通手段」について

裏面回答者 970 人に対する割合

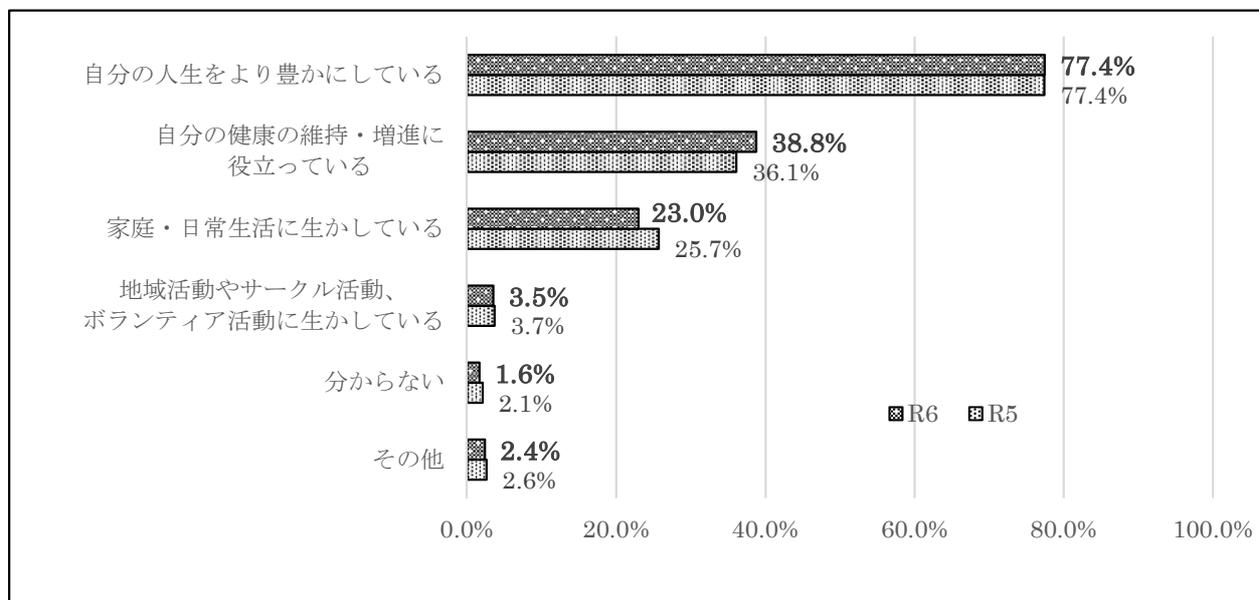


### <考察等>

- ・自家用車が45.8%とほぼ半数を占める。次に公共交通機関が37.1%と、約4割を占める。
- ・昨年に比べ、自家用車は2ポイント増え、公共交通機関が2ポイント減っている。これは、路線バスの便数減少等が一因となっている可能性もある。

## 「18. 市民大学で学んでよかったと思うこと」について

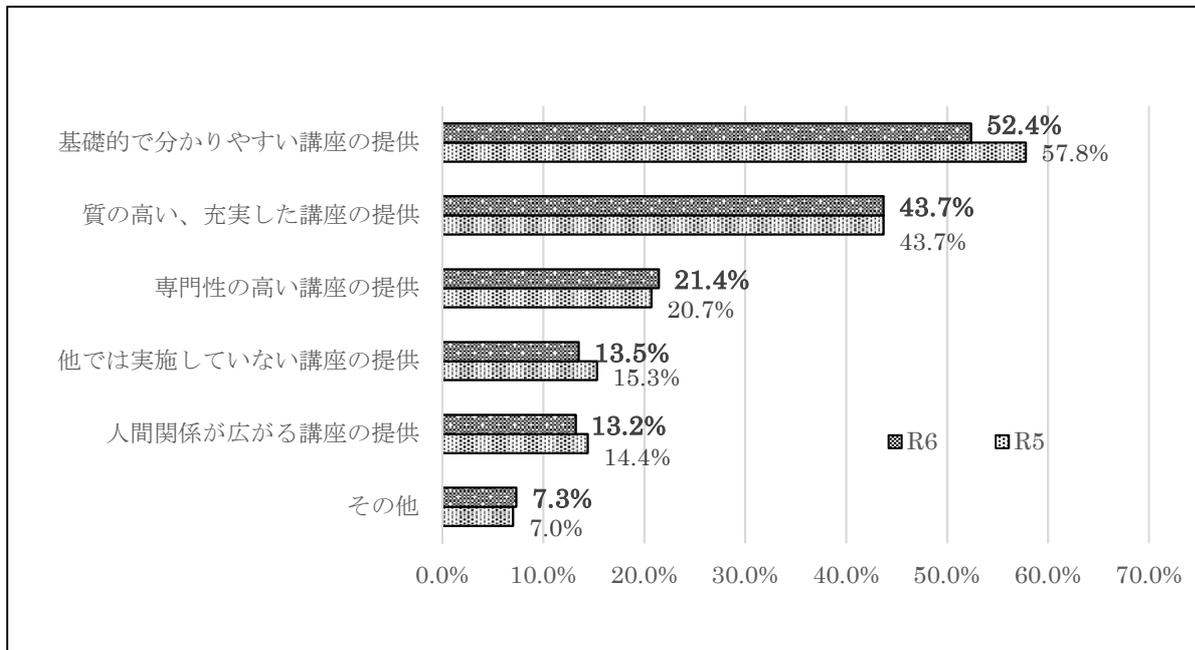
裏面回答者 970 人に対する割合



### <考察等>

- ・77.4%の受講者が、「自分の人生をより豊かにしている」と回答している。
- ・「自分の健康の維持・増進に役立っている」は38.8%を占め、「リズム体操」や「100歳まで歩こう」など実際に体を動かすコースや、「くらしの中の和漢医薬学」「健康生活の知恵」といった健康に関するコースが組み込まれていることが理由の一つと考えられる。
- ・また、講義に参加するために「外出する」、あるいは講義で他の受講者と「交流する」ことが、心身の健康維持・増進に繋がっていると考えられる。

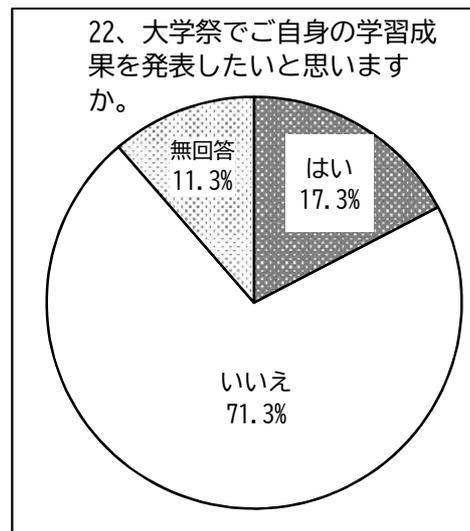
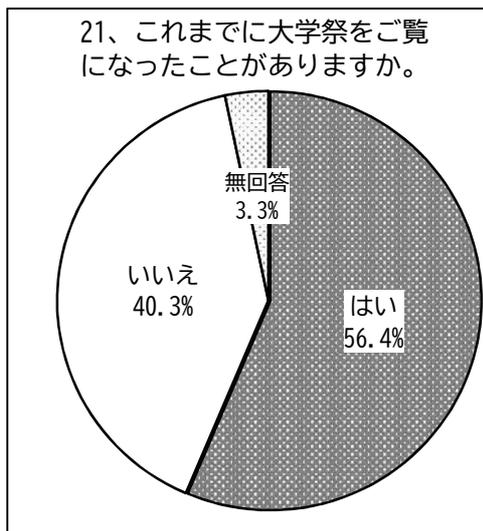
## 「19. 市民大学に今後期待すること」について



### <考察等>

- ・「基礎的でわかりやすい講義の提供」が52.4%を占め、最も要望が多い。また、「質の高い、充実した講義の提供」は43.7%を占めており、例年どおり要望が多い。
- ・一方で、「専門性の高い講義の提供」が21.4%と一定数を占める。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」に努めることを基本に、今後も誰もが参加しやすい基礎的な講義の開設に力を入れていく。また、それと併せて専門性の高い講義も継続するなど、市民の多様なニーズに合ったコース・講義の提供に努める。

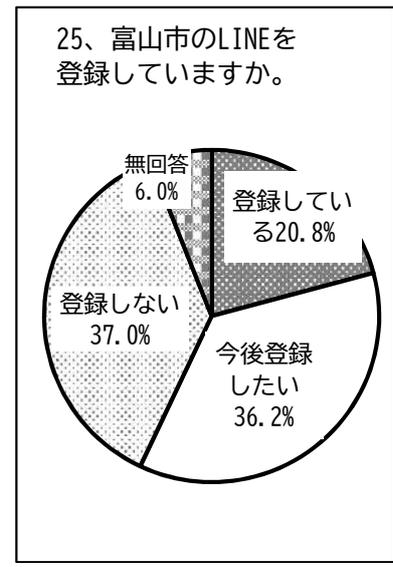
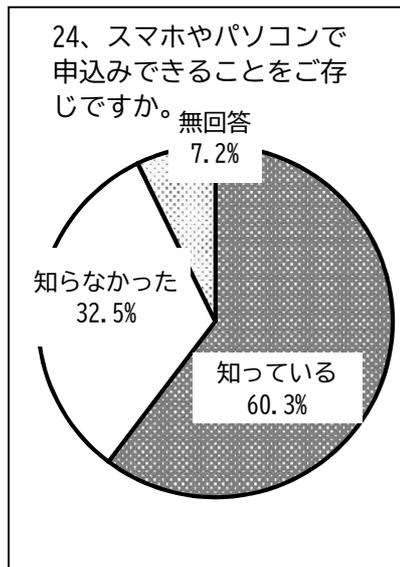
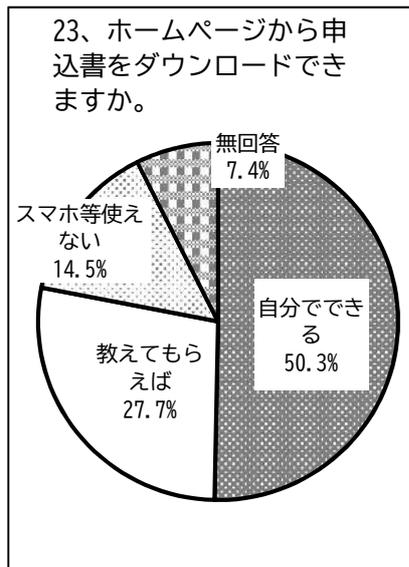
## 「富山市民大学祭」について【設問 21～22】



### <考察等>

- ・ 昨年の調査から設けた設問である。
- ・ 56.4% (55.4%) が「これまでに大学祭を見たことがある」と回答している。一方、40.3% (42.0%) が「見たことがない」と回答している。大学祭の周知がまだ不十分であることから、今後も外部への広報活動に努める必要がある。
- ・ 71.3% (74.9%) が、「自身の学習成果を発表したいか」に対して、否定的な回答が多い。設問 10 からも、講義への満足度は高いが、「発表」という段階までに目標を置く受講者は少ない。

(7) 「デジタル環境」について【設問 23～25】



<考察等>

- ・設問 24 については、昨年、「スマホやパソコンからイベント等の申し込みができるか、または、したことがあるか」から「スマホやパソコンから市民大学受講の申し込みができることを知っていたか」に変更した。また、25 については、昨年、「スマホを使ってキャッシュレス決済を利用できるか」から「富山市の LINE を登録しているか、または、してみたいと思うか」という設問に変更した。
- ・当センターでは、令和 6 年度分の受講申込からインターネットによる受付を開始している。また、今秋より、センターの LINE 登録者に対してイベント等の案内ができるようにしている。インターネットによる受講申込は全申請件数のうち、約 35%であった。
- ・「市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできる」は、約 50%が「自分でできる」と回答した。「家族等に教えてもらったらできる」を加えると約 80%を占めている。
- ・「スマホやパソコンから市民大学受講の申し込みができることを知っていたか」からは、そもそも「知らなかった」という受講者が 30%強いることが分かった。今後、大いに周知する必要がある。
- ・「富山市の LINE を登録しているか、または、してみたいと思うか」については、「登録している」及び「登録してみたい」が 57.0%であった。一方、「登録しない」と答えた受講者が 37.0%もいることから、LINE によって情報を受け取る有益性や利便性についても周知していきたい。
- ・今後、受講申込方法等の改良や検討をしていくこととなるが、受講者のほとんどが高齢者であることを加味し、慎重に事を運ばなくてはならないだろう。

7 アンケート全般について（考察）

- ・限られた人員で多彩なコースを同時進行で行っており、コース増は容易ではない現状だが定員の充足率を指標として、さらに市民ニーズに応じた多彩なコース開設や講師選定に努める。また、継続受講や他のコースも受講してみたいと思う受講者は相当数おり、引き続き満足度を高める工夫をすることが求められる。
- ・市民大学の存在を知らない方に周知し、新規の受講者獲得に努めることが重要である。そのために、市広報での宣伝をはじめ、大学祭や特別講義、特別講演会の周知を工夫して市民大学の存在を広めることにより、受講者数の増に努める。

# 令和6年度 富山市民大学に関するアンケート

受講コース名

※ 富山市民大学運営の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。  
(該当する項目に○を付けてください。)

● 受講経験等について

1	市民大学の通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上(年)
2	このコースの通算受講年数	ア 初めて	イ 2～3年	ウ 4～5年	エ 6～10年	オ 11年以上(年)
3	今年度の受講数	ア 1コース	イ 2コース	ウ 3コース	エ 4コース以上(コース)	

● このコースの時間・回数等について

4	現在の講義時間(休憩を含み120分など)	ア 長い	イ 短い	ウ ちょうどよい
5	講義の回数(10回・15回など)	ア 多い	イ 少ない	ウ ちょうどよい
6	講義の開始時刻	ア 早い	イ 遅い	ウ ちょうどよい

● このコースの内容等

質問項目	評価欄				
	満足	やや満足	やや不満	不満	
7	講義内容について	4	3	2	1
8	講師の説明、指導について	4	3	2	1
9	講座の雰囲気について	4	3	2	1
自由記述	※ 質問7～9についてご意見がありましたら、ご記入ください。				

● このコースを受講した成果

質問項目	評価欄				
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
10	学ぶ楽しさを味わうことができた	4	3	2	1
11	他の受講者との交流が広がった	4	3	2	1
12	学習内容を自主的に学んでいる	4	3	2	1
13	このコースをもう一度受講したい	4	3	2	1
自由記述	※ 質問10～13についてご意見がありましたら、ご記入ください。				

● このコースを受講しての感想をお書きください。(自由記述)

14	
----	--

裏面に続く

ここからは、一人1回の回答となります。  
他のコースで記入された方は、回答されなくて結構です。

- 今年度の開設コース及び学習内容を知った方法（該当するものすべてに○を付けてください。）

15	ア 広報とやま	イ 富山市ホームページ	ウ ラジオ・テレビ
	エ 地区センター等	オ 友人・知人	カ その他(

- 受講の動機（該当するものすべてに○を付けてください。）

16	ア ものの見方、考え方を広げたい	イ コースの内容に関心がある	ウ 講師に魅力を感じた
	エ 余暇を有意義に過ごしたい	オ 学習したことを地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	
	カ 友人・知人に誘われた	キ 人間関係を広げたい	ク 受講料が安価である
	ケ 講義会場まで通いやすい	コ 他の講座にも興味が沸いた	サ 毎年受講しているから
	シ 大学祭を見て興味が沸いた	ス その他(	)

- 講座会場へ来場する際の主な交通手段（該当するもの○を付けてください。）

17	ア 徒歩	イ 自転車	ウ 自家用車
	エ 公共交通機関	オ その他(	)

- 市民大学で学んでよかったと思うこと（該当するものすべてに○を付けてください。）

18	ア 自分の人生をより豊かにしている	
	イ 家庭・日常生活に生かしている	
	ウ 自分の健康の維持・増進に役立っている	
	エ 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている	
	オ 分からない	
	カ その他(	)

- 市民大学に今後希望すること（該当するものすべてに○を付けてください。）

19	ア 質の高い、充実した講座の提供	カ その他（具体的に書いてください。）
	イ 専門性の高い講座の提供	
	ウ 基礎的で分かりやすい講座の提供	
	エ 人間関係が広がる講座の提供	
	オ 他では実施していない講座の提供	

- 新規に開設を希望する講座があれば、お書きください。（自由記述）

20	
----	--

- 富山市民大学祭について（該当するものに○を付けてください。）

21	これまでに、大学祭をご覧になったことがありますか。	ア はい	イ いいえ
22	市民大学祭で、ご自身の学習成果を発表したいと思いますか。（作品展示やステージ発表等）	ア はい	イ いいえ

- デジタル環境について（該当するものに○を付けてください。）

23	市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえばできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
24	スマホやパソコンから市民大学受講の申込みができることをご存じでしたか。	ア 知っている	イ 知らなかった	/
25	富山市のLINEを登録していますか。または、してみたいと思いますか。	ア 登録している	イ 登録していないが今後したいと思う	

※ ご協力ありがとうございました。